平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　株式会社 CDG　　上場取引所　大
コード番号　2487　URL　http://www.cdg.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井　勝典
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長　(氏名) 曽我部　憲昭　TEL 06-6282-0662

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,378	37.8	493	256.6	500	232.2	296	311.4
23年3月期第2四半期	3,903	8.0	138	△18.8	150	△19.0	72	90.5

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　300百万円　(345.7%)　23年3月期第2四半期　67百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	151.61	―
23年3月期第2四半期	36.27	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,196	3,005	57.8
23年3月期	5,103	2,787	54.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　3,005百万円　23年3月期　2,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	40.00	40.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	55.00	55.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	13.5	700	48.4	700	41.8	420	58.1	214.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	2,080,000 株	23年3月期	2,080,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	121,828 株	23年3月期	118,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	1,958,474 株	23年3月期2Q	1,989,672 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) セグメント情報等 …… 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
(7) 重要な後発事象 …… 9
４．補足情報 …… 10
【生産、受注及び販売の状況】…… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により一時的に企業の生産活動の停滞や個人消費の落ち込みがあったものの、徐々に景気は持ち直してきました。しかしながら、円相場の高止まりを受け輸出企業の採算は大幅に悪化するとともに、欧州各国の債務問題や米国景気の減速懸念が一段と強まり、我が国の景気の先行きは不透明感が増す状況が続いております。

この様な経済環境の中、一部において販売促進活動に慎重姿勢もあり、企業によってバラツキがありますが、生産体制の回復や個人消費の持ち直しが見られてくるにつれて販売促進活動も通常に戻ってまいりました。

その様な環境のもと、当社グループでは主力であるノベルティグッズの供給にとどまらず、顧客が抱える営業課題解決に向けたソリューション型の提案営業を強化し、キャラクターや各種コンテンツ等との連動、企業間タイアップの実現、店頭施策提案の充実など、顧客対応力を高めるためのサービス供給機能を向上させることに注力いたしました。あわせて調達先であるサプライヤー各社との関係強化を推進することで、商品調達力と品質管理体制を高めることに取り組み、市場ニーズを的確に捉えたグッズ提案と安全な商品供給を両立させることで、顧客満足度を向上させることにも努めてまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における連結業績は、当社グループの主要顧客である飲料業界向けの実績が複数の大型案件を受注したことで大幅に伸びたことに加え、同じく主要顧客である製薬業界向けの案件獲得が引続き堅調であった事から好調に推移しました。これらに加え、当社グループの豊富な顧客群に対し、組織的対応による顧客深耕を強力に推進した結果、外食業界並びに通信業界向けの深耕が進み、相応の実績を残すことができたことから、売上高は5,378百万円（前年同期比37.8%増）と、第２四半期連結累計期間の売上高としては過去最高を記録することができました。また、販売費及び一般管理費については予算執行の厳格化の徹底を継続することにより前年並みとなり、これに増収効果が加わったことから、営業利益は493百万円（同256.6%増）、経常利益は500百万円（同232.2%増）、四半期純利益は296百万円（同311.4%増）と、第２四半期連結累計期間でこれまでの実績を大幅に上回る過去最高益を残すことができました。

なお、当社グループではセールスプロモーションの企画及び販売を行なう単一事業分野において営業活動を行なっておりますので、セグメント情報の記載は行なっておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,524百万円（前連結会計年度末4,444百万円）となり、79百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が仕入債務の支払いや法人税等の支払い等を行なったことにより376百万円減少しましたが、売上高の増加により受取手形及び売掛金が498百万円増加したためであります。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は672百万円（同659百万円）となり、13百万円増加しました。建物等の償却が進み有形固定資産が10百万円減少いたしましたが、有価証券の取得に伴い投資有価証券が23百万円増加したためであります。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,945百万円（同2,070百万円）となり、124百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等が93百万円、賞与引当金が29百万円増加しましたが、仕入債務の支払いを先行して行った結果、支払手形及び買掛金が171百万円減少したことに加え、その他が76百万円減少したためであります。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は245百万円（同245百万円）となり、前連結会計年度末と比較して、大きな変動はありませんでした。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,005百万円（同2,787百万円）となり、217百万円増加いたしました。主な要因は、利益処分による配当を78百万円行なったものの、四半期純利益を296百万円獲得したことなどにより、利益剰余金が218百万円増加したためであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は970百万円となり、前連結会計年度末と比較して378百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは262百万円の減少（前年同期比５百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が502百万円となったものの、売上債権の増加額が498百万円となったことや仕入債務の減少額が171百万円となったこと、また、法人税等の支払による支出が133百万円あったためであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは30百万円の減少（同160百万円の増加）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出が16百万円あったことや保険の積立による支出が12百万円あったためであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは85百万円の減少（同13百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払による支出が78百万円あったことに加え、自己株式の取得による支出が４百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月11日に公表した連結業績予想について変更はございません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,318,421	1,942,362
受取手形及び売掛金	1,834,126	2,332,241
制作支出金	134,263	97,459
製品	9,172	17,239
原材料	10,593	14,986
繰延税金資産	58,284	73,693
その他	80,763	47,759
貸倒引当金	△1,244	△1,516
流動資産合計	4,444,380	4,524,226
固定資産		
有形固定資産	209,304	199,156
無形固定資産	33,012	25,320
投資その他の資産		
投資有価証券	83,505	106,918
従業員に対する長期貸付金	268	－
繰延税金資産	47,127	45,298
保険積立金	123,992	134,345
敷金及び保証金	121,003	120,919
その他	52,222	51,845
貸倒引当金	△11,119	△11,119
投資その他の資産合計	417,000	448,207
固定資産合計	659,318	672,684
資産合計	5,103,698	5,196,911

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,601,943	1,430,794
未払法人税等	133,381	227,071
賞与引当金	84,500	114,000
その他	250,988	174,033
流動負債合計	2,070,813	1,945,900
固定負債		
退職給付引当金	81,153	84,955
役員退職慰労引当金	164,005	160,875
固定負債合計	245,158	245,830
負債合計	2,315,971	2,191,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,000	450,000
資本剰余金	201,000	42,000
利益剰余金	2,458,833	2,677,314
自己株式	△158,761	△163,669
株主資本合計	2,792,071	3,005,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,345	△464
その他の包括利益累計額合計	△4,345	△464
純資産合計	2,787,726	3,005,180
負債純資産合計	5,103,698	5,196,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	3,903,335	5,378,635
売上原価	2,846,087	3,936,120
売上総利益	1,057,248	1,442,514
販売費及び一般管理費	918,828	948,960
営業利益	138,419	493,554
営業外収益		
受取利息	2,475	1,647
受取配当金	909	1,283
仕入割引	6,226	3,716
その他	3,140	2,123
営業外収益合計	12,752	8,770
営業外費用		
支払利息	190	142
原状回復費用	192	998
自己株式取得費用	－	56
その他	44	321
営業外費用合計	427	1,519
経常利益	150,743	500,804
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	－
保険解約返戻金	161	4,056
特別利益合計	1,161	4,056
特別損失		
賃貸借契約解約損	8,480	1,560
有形固定資産除却損	10,094	611
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	350	－
保険解約損	603	－
特別損失合計	19,528	2,171
税金等調整前四半期純利益	132,377	502,690
法人税、住民税及び事業税	58,835	221,996
法人税等調整額	1,368	△16,233
法人税等合計	60,203	205,762
少数株主損益調整前四半期純利益	72,173	296,927
四半期純利益	72,173	296,927

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	72,173	296,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,684	3,881
その他の包括利益合計	△4,684	3,881
四半期包括利益	67,488	300,808
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,488	300,808
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,377	502,690
減価償却費	10,309	11,474
無形固定資産償却費	13,870	8,412
有形固定資産除却損	10,094	611
賃貸借契約解約損	8,480	1,560
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,000	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,116	3,802
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,230	△3,130
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,742	272
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,500	29,500
保険解約返戻金	△161	△4,056
保険解約損	603	－
受取利息及び受取配当金	△3,385	△2,930
支払利息	190	142
売上債権の増減額（△は増加）	△281,709	△498,114
たな卸資産の増減額（△は増加）	121,145	24,342
仕入債務の増減額（△は減少）	△180,154	△171,148
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△11,423	31,377
その他の流動負債の増減額（△は減少）	1,240	△69,673
その他	△233	1,284
小計	△185,398	△133,583
利息及び配当金の受取額	5,289	4,302
利息の支払額	△190	△142
法人税等の支払額	△87,648	△133,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	△267,948	△262,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,526	△3,201
無形固定資産の取得による支出	△5,816	△1,430
投資有価証券の取得による支出	△314	△16,878
投資有価証券の売却による収入	2,000	－
ゴルフ会員権の取得による支出	△11,000	－
定期預金の預入による支出	△999,648	△771,144
定期預金の払戻による収入	996,317	768,834
保険積立金の積立による支出	△54,945	△12,673
保険積立金の解約による収入	778	6,377
敷金の回収による収入	526	6,149
敷金の差入による支出	△90,629	△7,651
その他	657	1,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,602	△30,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	－	△4,908
配当金の支払額	△69,638	△78,446
その他	△1,877	△1,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,516	△85,199
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△530,067	△378,368
現金及び現金同等物の期首残高	1,201,435	1,348,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	671,367	970,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

当社グループはセールスプロモーショングッズの企画・販売を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

当社グループはセールスプロモーショングッズの企画・販売を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

【生産、受注及び販売の状況】

当社グループは、専ら、ノベルティ・プレミアムグッズに代表されるセールスプロモーショングッズを企画・販売する単一事業分野において営業活動を行い、単一セグメントであるため、セグメント別の情報は記載しておりません。

(1) 生産実績

当社グループの販売するセールスプロモーショングッズは広範囲かつ多種多様であり、同様の製品であっても仕様が一様ではなく、またポケットティッシュ以外の受注商品の製作につきましては全て外注先に委託しております。なお、当社グループで販売するポケットティッシュについて、その多くを当社の連結子会社である㈱岐阜クリエートにおいて生産しておりますが、当社グループで生産しているポケットティッシュの生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	前年同四半期比 (%)
ポケットティッシュ(千個)	73,636	112.5
合計(千個)	73,636	112.5

(注)　千個未満は切り捨てております。

(2) 仕入実績

当社グループでは価格競争力を強化するため、一部の商品について中国より直接購買を行っております。当第２四半期連結累計期間における、当社グループにおける国内での仕入実績及び中国からの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

地域	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	前年同四半期比 (%)
国内仕入(千円)	3,231,266	144.1
海外(中国)仕入(千円)	449,932	174.8
合計(千円)	3,681,199	147.3

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間における、当社分類による顧客所属産業分野別に販売状況を示すと、次のとおりであります。

分野	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	前年同四半期比 (%)
衣食住・流通産業分野(千円)	3,663,863	152.4
情報・通信産業分野(千円)	1,056,213	119.3
金融・保険産業分野(千円)	201,845	91.5
その他(千円)	456,712	116.0
合計(千円)	5,378,635	137.8

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。